

ちやんと かわら版

eスポーツの人気ゲーム・スプラトゥーン3の日本一を競う「スプラトゥーン甲子園2023」北海道地区大会小学生の部で優勝した「千歳市塗装倶楽部」メンバー4人が9月20日に千歳市役所を表彰訪問。



eスポーツ「千歳市塗装倶楽部」が全国大会出場を前に横田市長を表彰

横田隆一市長に、今年12月16、17日に東京で開催される全国決勝大会出場への強い意気込みを語りました。



全国5地区で行われる地区予選の1つである北海道地区大会は6月17日(DAY1)、18日(DAY2)の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催。両日も32チームずつが出場し、千歳市塗装倶楽部はDAY2で見事優勝。DAY1優勝のすぶらぶ(東京)とともに全国大会出場を決めました。北海道在住のチームとしては唯一の代表です。

訪問には、リーダーの柴多武蔵さん(桜木小6年、中衛)、中沢小春さん(信濃小5年、後衛)、岩田すずさん(千歳第二小5年、前衛)、岩田とわさん(同小2年、同)の4人が出席。横田市長から「日頃の練習の成果を發揮して、全国の舞台でも

頑張ってください」と激励を受けていました。攻撃重視のスタイルを貫き、他チームより早い機動力を生かした意外な動きが強みというチーム。連日のようにオンラインやメンバーの自宅での練習を重ね、目指す全国優勝に向けた連携強化に励んでいます。全国出場に向け、柴多リーダーは「地区大会の時よりも練習し、チームとして実力を発揮できるように頑張ります」ときっぱり。他の3人も「全国大会でも優勝を目指して頑張ります」とそれぞれ意欲を燃やしています。

よくある相談の一つ「認知症の疑いがある家族を病院に連れていくべきか」について「本人に自覚があり、納得している場合はいいのですが、無理やり連れて行かないようにしましょう。『頭の健康診断に行こう』と誘ってみてください。時間はかかるかもしれませんが、本人が納得して行くことが

千歳市介護予防センター主催の認知症サポーター養成講座が、世界アルツハイマーデーの9月21日に、千歳市社会福祉協議会2階会議室で開かれました。認知症について知識と理解を深め、当事者との接し方を学ぶことを目的に、厚生労働省の呼びかけで2008(平成20)年より開講。現在までの修了者数は千歳市で7997人です。出席者



認知症を知り、学ぼう 認知症サポーター養成講座

前講座を含め7回目となる今回は16人が参加しました。講師は千歳市北区地域包括支援センター主任介護支援専門員の浅野満さん。浅野さんは、千歳市の認知症・軽度認知障害の高齢者は4人に1人と説明。代表的な症状は「アルツハイマー型認知症」、「脳血管性認知症」、「レビー小体型認知症」、「前頭側頭型認知症」の4つに分類されると解説し、それぞれの症状と対処方法について経験談を交えて語りました。

講座終了後、毎年同講座を受講する、北陽高校2・3年生の生徒が手作りした「認知症サポーター」バッジが、受講の証として参加者全員に配られました。



大切です」と認知症当事者に寄り添うことの大切さを説明。最後に「家族の行動が大きく変わったなど、不安や心配があれば抱え込まずに相談してください」と専門機関を頼るようアドバイスを送りました。



(編集部 大谷)



千歳自動車学校「1日開放祭」が秋の全国交通安全運動期間(9月21日〜30日)に合わせて9月24日に開催されました。昨年までコロナ禍により中止されていましたが、今年は4年ぶりの開催。これまで同校の卒業生限定だったイベントを、今年から一般開放し親子連れなどで賑わいました。

参加者にはおにぎりや豚汁、焼き鳥やフランクフルト、飲み物が無料でふるまわれました。自転車に関する子ども向けのクイズ大会や、車を運転し教習所コース内停止線の手前で停止させて、線と車両までの距離を競う大人限定の競技大会、バイクや迫力あるブルドーザーの試乗、旅行券などが当たる抽選会が開催され、参加者は大いに盛り上がりました。

(編集部 大谷)

千歳自動車学校 初の一般開放 一日開放祭

Wine X 日本料理

和食で愉しむワイン会 Vol.3

2023年10月27日 [FRI]

18:00 受付開始 18:30 開宴
(2時から2時半ほど予定しております)

お一人様 **15,000円** (税込)
コース料理、ワインを含みます

定員10名

お申込は10月24日(火)まで
(定員になり次第終了)

※アレルギーがございましたら申込時にお伝えください。

全国各地の旬の食材を用いた「ゆきあかり山河」ならではの料理を、ソムリエ厳選のワインと共に、お楽しみくださいませ。

日本料理 **ゆきあかり**

LA
sanga
河